



弓道場の奥が、射の集中力を後押し

県内屈指の弓道場で高段者競う

● 福岡県四地区対抗研射会

県 内屈指の弓道場として名高い福智町弓道場。ここを舞台に8月27日、福岡県四地区対抗研射会が開かれました。福岡・北九州・筑豊・筑後の県内4ブロックから教士や錬士といった高段者50人が出場。矢渡・持的坐射・1つの射礼の三種目で、射の美しさと正確さが競われました。昨年オープンしたばかりの弓道場は「和の雰囲気や開放感、機能性を備えた施設」と評価され、大会役員や選手が絶賛していました。



ハウス横での直売は百貨店より超格安

イチジク新種とよみつひめ好評

● 村上怜右さん(市場)が試験栽培

一 昨年に県農業総合試験場開発したイチジクの新品種「とよみつひめ」を村上怜右さん(市場)が試験栽培し、消費者から好評を得ています。「とよみつひめ」は従来品より糖度が2度高く、甘みが強いのが特徴。果汁が多く柔らかい食感が自慢です。病害や害虫にも強く、低農薬栽培が可能。県内5つの農家で試験栽培し、大手百貨店では一パック千円以上で販売されるなど人気を集めています。



緊張感と声援に包まれた会場で放水

町の名を背に第1分団々々出場

● 福岡県消防操法大会

筑 豊ブロック田川郡代表として、福智町第一分団が県消防操法大会に出場しました。大会は9月3日に福津市の県消防学校で開かれ、福智町は15チームが参加する小型ポンプ操法の種目で競技。およそ3か月間にわたる厳しい訓練を終えた選手4人は、培った技術と精神を大会のわずかな数分間に凝縮して挑みました。消防技術の向上を目指し、町の看板と声援を背負って出場したその勇姿は、次号で詳しく掲載します。



AEDを使った救急蘇生法の講習

田川市郡から400人が蘇生法学ぶ

● 救急の日のつどい

田 川市郡の市町村などで構成する田川地区救急医療協議会主催の「救急の日のつどい」が9月8日に福智町で開かれました。同対策研修センターで社会保険田川病院の吉村恭幸院長による講演、中央公民館では田川医師会と田川地区消防署による講習が行われました。ともにAED(自動体外式除細動器)に関する内容で、田川市郡から集まったおよそ400人の参加者は、緊急時の正しい蘇生法に理解を深めました。

139人72世帯が自主避難 農作物にも被害

● 台風13号直撃



台風の強風になぎ倒された収穫前の稲(上全田)

強 い台風13号が九州全域を暴風域に巻き込みながら北上し、9月17日に勢力を保ったまま上陸しました。福智町では16日から自主避難をはじめ、17日には役場や公民館など町内5か所の公共施設に139人、72世帯のかたが避難。不安な一夜を過ごしました。倉庫の崩壊や停電、建物の瓦が飛ぶなどのほか、農作物では稲が倒れ、梨が落果する被害が相次ぎ、収穫にも影響しそうです。行政では、17日正午に浦田町長を本部長とする災害警戒本部を設置し、消防団や職員が待機。巡回をしながら緊急体制をとりました。強い台風でしたが、幸い町内でのけが人は出ませんでした。近年の異常気象で台風や豪雨、落雷などがいつ発生するかわらない状況です。斜面付近では、二次災害の危険性もあります。日ごろから家庭で緊急時の対策を確認しておいてください。



17日正午に設置した福智町災害警戒本部

沿線児童の夢飾り「走る美術館」

● へいちく 絵画コンクール優秀作品展

平 成筑豊鉄道(本社・金田駅)が8月の1か月間「夢の列車」をテーマに、小学生が描いた絵を列車内に飾りました。3月に沿線9市町村の小学生から募った451点の中から優秀作品40点を展示。翼がある列車や虹色の車体など発想豊かな作品が乗客を和ませました。作品が展示されたのは車体が緑の「ちくまる号」と黄色い「ちくまるみどり号」です。町内では久原純純さん(市場小3年)の絵が車内を飾りました。



肩を落として... やくらの撤去作業

突如の集中降雨で無念の中止に

● 水と灯火の夕べ

楽 しみだった夏のメインイベント「水と灯火の夕べ」。しかし8月26日の当日、午後3時をピークに短時間で激しい雨が降ったため、無念の中止となりました。実行委員会の規定で、開催可否の決定は午後4時。川も増水し、河川敷ではぬかるみがひどく事故の危険性も高かったため、水浸しになった会場と気象状況を考慮し、中止が判断されました。来年こそは、ぜひ地域ならではの盆踊りと大輪の花火をみたいですね。